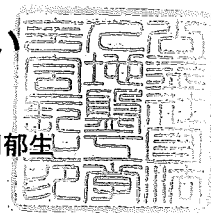


一般社団法人 日本グラウト協会
会 長 中 森 保 様

基準英訳化事業に関します広告掲載をとまなう寄付金のお願い

地盤工学会 会長 東畑郁生



1. 基準英訳化事業の現状

平成 26 年より開始いたしました地盤工学会基準類の英訳化事業は、3 か年計画での完成に向け順調に進行しています。平成 27 年度は

- ・土質試験基準 26 件

Japanese Geotechnical Society Standards: Laboratory Testing Standards of Geomaterial, Vol.1

- ・地盤調査基準 20 件

Japanese Geotechnical Society Standards: Geotechnical and Geoenvironmental Investigation Methods, Vol.1

を発刊いたしました。

本年平成 28 年度は、Vol.2 として、土質試験基準 20 件、地盤調査基準 20 件を英訳し、平成 28 年夏頃には発刊する予定にしております。

現在、ASEAN 諸国では、ミャンマーやカンボジアなど先進諸国の技術を導入する国とベトナムやインドネシアなど自国式の設計技術を構築する動きのある国といった発展形態の異なる国情を持った国々が混在しています。その中で、計画から設計・施工までを日本式の基準にて導入が進められているインド新幹線やベトナムの港湾基準に日本の港湾設計基準が導入されるなど、日本の設計基準の普及が広がりを見せています。さらに、安倍内閣の下で日本のインフラ輸出も積極的に進められている現状もあり、日本の成熟した各種基準の海外輸出の必要性は非常に高くなっているといえます。このような状況を鑑みて、私たち地盤工学会も各種設計基準の根幹となる土質試験や地盤調査基準を英訳化し、

- ・ASEAN 諸国の地盤工学技術者への日本式の土質試験技術や調査技術の普及
- ・日本の建設関連会社（コンサルタント会社、建設会社および試験機器メーカー）の生産活動の支援（日本基準をベースにした日本式の地盤技術ノウハウの海外活用）
- ・日本の建設関連企業がより有利に調査・設計・施工ができるための後方支援

に寄与し、少しでも日本の建設関連団体様が ASEAN 諸国でより活躍できる環境構築を支援できればと考えています。

なお、基準の英訳化は、できるだけ迅速に基準の英訳版の普及を実現するため、以下の方針で実施しております。

- ・短期間での英訳の実施と発刊（平成 27 年から 3 か年計画で発刊）
- ・使用優先順の高い基準から英訳化（実務上使用頻度の高い基準から普及）
- ・各年単位の出版・販売による迅速な普及

2. 基準英訳化事業実施に向けた寄付および広告掲載のお願い

本事業は、短期間での実施と迅速な普及を目指すため活動資金の確保が必須の条件であるため、学会の資金では実現が難しく企業様からの寄付を募っての実施としています。

- ・平成 26 年は、27 団体（コンサルタント 12 社、建設関連会社 11 社、試験機メーカー 1 社、その他試験機関 3 機関）より合計 570 万円のご協力を頂きました。
- ・平成 27 年は、12 団体（鉄道会社 1 社、建設関連会社 3 社、コンサルタント 8 社、一般財団法人 2 機関）より合計 290 万円のご協力を頂きました。

しかしながら、3 か年の英訳化を完遂するまでには、まだ資金が不足しております。

そこで、一般社団法人 日本グラウト協会様を通じ今までの寄付にまだご協力、ご参加いただいております。

ない企業様におきましては、何卒ご賛同をお願い頂きたく、ここにお願いとご連絡を申し上げた次第です。

3. ご協力企業様へのささやかながらのお返し

本書の巻末には、ご賛同頂きました**関係企業様の広告(英語版)**を掲載させていただいております。また、今回ご賛同いただきました企業様には、遡って

Japanese Geotechnical Society Standards: Laboratory Testing Standards of Geomaterial, Vol.1

Japanese Geotechnical Society Standards: Geotechnical and Geoenvironmental Investigation Methods, Vol.1
を献本させていただきますとともに、以降の発刊基準 Vol.2～Vol.3 も併せて献本させていただきます。

さらに、**関係企業様の広告(英語版)**を掲載させていただきますことで、今後 ASEAN 諸国の技術者や発注関係者への各企業様の PR になると考えております。

また、地盤工学会では、国際貢献事業の機会には本基準英訳版の配布も視野に入れており、そのことによる企業様の PR も同時に行えるのではないかと考えております。

平成 27 年には、「ベトナム地盤工学会（ハノイ）およびホーチミン工科大学での基準英訳化版贈呈式と One Day ワークショップ（9 月 23 日～25 日）の開催」。同年 11 月には「国際地盤工学会 第 15 回アジア地域会議(福岡)」において参加各国への基準英訳化贈呈式も実施し、基準英訳版の普及と、それに併せた寄付金賛同企業様の PR も実施して参りました。

4. 寄付金に関しますご案内

以上のような状況をご理解頂き、何卒、基準の英訳化にご協力をお願いいたします。なお、寄付金を広告掲載料という位置づけでお考え頂いても結構です。お願い致します寄付金（広告掲載料）は、下記の通りとさせていただきます。

・英語版の広告掲載サイズと寄付金（広告掲載料）のご関係

- | | | |
|-----------|------------------------|-------------------------------------|
| ・ 30 万円以上 | : A4 2 ページ以上（掲載種類は複数可） | 260mm×180mm×2p 以上
(ページ数に関しては要相談) |
| ・ 30 万円 | : A4 2 ページ（掲載種類は複数可） | 260mm×180mm×2p |
| ・ 20 万円 | : A4 1 ページ（掲載種類は複数可） | 260mm×180mm |
| ・ 10 万円 | : A4 1/2 枚（掲載種類は複数可） | 125mm×180mm |

※掲載媒体は Adobe PDF データ、解像度 300dpi 以上をお願いいたします。

※掲載広告は、白黒となります。作成の際にはご注意ください。

以 上

なお、寄付金（広告掲載料）のご送金先と広告データのご提出先は下記の通りとさせていただきます。皆様のご協力、何卒よろしくお願いいたします。

・送金先

振込期日 平成 28 年 8 月末日

振込先 <郵便>

口座記号番号：00110-2-419071

加入者名：公益社団法人地盤工学会 寄附口

・お問い合わせ、広告データの提出先

提出期日 平成 28 年 8 月末日

提出先 公益社団法人 地盤工学会

調査基準・技術推進チーム

chosaki@jiban.or.jp、電話 03-3946-8673